

平成25年度 大学・地域連携事業委員会 事業計画

1 事業概要

持続可能性あるまちづくり、歴史に学びながら未来を切り拓くまちづくりを進める地域と大学の共同の取組みを支援する。

平成25年度は、大学・地域連携事業委員会の副担当として会員自治体にも参画願い、事業推進に係る企画立案を大学と連携して行うことで、より地域ニーズの反映を期すとともに、地域課題の解決や地域と大学の情報交流の活性化など大学と地域の双方が共に発展できることをめざす事業を展開する。

○副担当自治体（幹事担当年と重複しないよう調整）

H25 草津市 H26 以降は2年毎に大津市、長浜市、東近江市、彦根市の順

2 主な取組み

(1) 大学地域連携課題解決支援事業（継続）

- ・地域がもつ様々な課題の解決に向け、教員・学生の集団が、地域の中で、市町、地域住民、関係団体などと協働で取り組むプロジェクトを支援する。
- ・平成25年度においては、会員自治体のエリアを対象に課題解決事業を行う。
- ・1自治体あたり20万円を限度として助成する。

(2) 大学地域連携ネットワーク事業（継続）

- ・滋賀県内の大学地域連携の取組みの情報交換、新たな協働の可能性の追求および大学地域連携事業委員会への助言を行うことを目的に、引き続き、大学教職員、自治体職員、NPO職員等地域で主体的な活動を行うメンバーにより意見交換等を行う。特に、平成25年度は、平成24年度の議論の結果を踏まえて大学と博物館との連携を発展させ、具体的な連携事業等の可能性についての検討を行う。

(3) 大学地域交流フェスタ事業（継続）

- ・「大学地域連携課題解決支援事業」の各プロジェクトの取組成果発表、大学地域連携ネットワーク事業で検討された内容等についての報告および学生支援事業の成果発表を行う。
- ・県南部地域での開催を検討する。(22 県大→23 立命大→24 バイオ大→25 龍谷大確認中)

3 事業予算案

(1) 大学地域連携課題解決支援事業	110万円（助成金＋事務調整経費）
(2) 大学地域連携ネットワーク事業	10万円（有識者招聘謝金等）
(3) 大学地域交流フェスタ事業	30万円（広報経費、講師謝金等）
合 計	150万円

平成25年度学生支援事業計画

(事業計画概要)

1. 平成25年度学生支援事業（継続事業）計画について

学生支援事業計画は、学生支援事業委員会で審議し、担当者会議で実施計画を立案する。

- ① 基本的に過去3年間の事業を踏襲することとし、次の3項目を目的とした1泊2日の宿泊研修等を中心とした事業を計画する。
 - ア、地域の人々と交流を通して地域を理解する。
 - イ、ボランティア活動を通じて社会について学ぶ。
 - ウ、学生が大学の垣根を越えて交流・学習する。
- ② 滋賀の魅力再発見（歴史や自然以外の魅力を含む）や学生主導による学生交流企画の提案（外国人留学生との交流を含む）を行う。
- ③ 大学地域連携事業と連携し、大学地域交流フェスタ等において学生支援事業の成果報告を行う。

2. 平成25年度学生支援事業予算（案）について

- ① 学生が地域理解を深めて地域住民や学生間の交流ができる企画の実施 2,000,000円
 - 会議・広報等の開催経費（300,000円）
（学生旅費・調整費、広報費ポスター等）
 - 学生と地域住民との交流企画（200,000円）
 - 1泊2日研修の実施（1,500,000円）

平成25年度 高大連携事業計画

平成25年度の高大連携事業として、以下の企画を実施する予定である。

1. 滋賀県高等学校進路研究会（高進研）の進路指導部会への講師派遣について

例年、5月と10月の滋賀県高等学校進路指導部会の総会において講演会を実施し、高大連携事業委員会に講演会の派遣要請がある。

平成25年度も引き続き派遣する。

予算 50,000円

2. 滋賀県高等学校進路研究会（高進研）の3部会への講師派遣について

現在、高進研の進路部会を除く3部会、キャリア、低通、特別支援の部会へも講演会等への講師派遣の案内を送っている。

それぞれの部会より依頼があれば講師を派遣する。

予算 100,000円

3. 滋賀県公立高校教員10年目研修への講師派遣と会場提供について

滋賀県総合教育センターで実施する滋賀県公立高校教員10年目研修講座に講師派遣と会場提供を行う。

平成25年度は1講座の予定だが、平成26年度より平成25年度実績をもとに受注講座の数を増やす方向である。

予算 150,000円

以上

平成25年度 就職支援事業計画

平成24年度就職支援事業は、平成23年度の事業実績を踏襲し、学生の就職支援に直結する合同企業説明会、滋賀県企業人事担当者と大学就職担当者との情報交換会、そして大学就職担当者間の情報交換会を実施した。平成24年度の新規事業として加盟大学に在籍する低年次生を対象に将来のキャリアビジョンに繋げるための合同合宿を開催した。

平成25年度は、滋賀県を始めとする各行政機関および経済団体等ともより一層の連携をはかり、学生の就職支援に直結する合同企業説明会を中心とした以下の事業を実施することとしたい。

但し、実施に際しては、予算や人員、企業・行政・大学の連携の状況等を見極めながら、加盟大学の学生や県内企業にとって、より有効的な事業となるよう、取り組んでいきたい。

1. 合同企業説明会

滋賀県内の優良企業・事業所を広く学生に認知してもらい、より多くのマッチングを実現するために「合同企業説明会」を実施する。実施にあたっては、学生にとって効果的なものを目指し、平成24年度同様、滋賀県・大津市・長浜市・経済団体などと連携をとりながら、県・市・経済団体が開催する合同企業説明会に共催の形で取り組むこととしたい。

【開催概要】

- ◆ 対象学生：4 回生および短大 2 回生
- ◆ 開催時期・曜日：未定（※行政機関、経済団体と調整の上決定）
- ◆ 開催場所：湖南地域、湖東地域、湖北地域で、行政機関、経済団体が指定する場所
- ◆ 参加企業：行政機関、経済団体と調整の上、決定する。

【概算経費】

- ◆ 共催費（各行政機関、経済団体の要望に応じて支出する） 320,000 円
(上限 80,000 円×4 会場)

※湖北 1 回、湖東 2 回、湖南 1 回を想定

合計 320,000 円

2. 滋賀県企業人事担当者と大学就職担当者との情報交換会

年々変化している昨今の就職環境を踏まえ、経済団体（滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会ほか）と連携し、企業の人事担当者と大学の就職担当者が交流・意見交換を行い、現状を捕まえた学生の就職支援に繋げる。本事業を実施することにより、大学に企業情報や求める人材等が伝わると同時に、この機会を通じて経済団体及び企業と大学間の距離が縮まり、マッチングの実現へとつなげることを目的とする。

実施にあたっては、加盟 13 大学の就職担当者と経済団体加盟企業の人事担当者がブース形式で名刺交換、意見・情報交換を行い、大学・企業それぞれからの意見や情報を共有し就職支援に繋げていきたい。

また、平成25年度より就職支援事業委員会と経済団体と定期的に情報交換を実施し、より密接な関係構築を図って行きたい。開催概要は以下のとおり。

【開催概要】

- ◆ 対象：滋賀県経済団体（滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会ほか）加盟企業と環びわ湖大学・地域コンソーシアム加盟大学の就職担当者
- ◆ 開催時期：滋賀県経済団体と日程調整（※10月～11月を予定）
- ◆ 開催場所：滋賀県経済団体と会場調整
- ◆ 参加企業：約80社（経済団体と調整）
- ◆ 実施方法：2部制で開催する。
 - ◇第1部：講演会
※滋賀県内企業による現状説明（求人動向、採用状況、求める人材等）。
 - ◇第2部：加盟大学の就職担当者が、各企業のブース（1テーブルに5社）を訪問し、10分程度の意見交換（名刺交換および質疑応答）を実施する。1回毎に大学がグループを移動し、全ての企業と名刺交換が出来るように配慮する。
※但し、参加企業数によっては、実施方法の変更も必要となる。

【概算経費】

- ◆ 会場費 100,000円 合計 100,000円
※滋賀県経済団体（滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会）と連携し共同開催とする。経費については、経済団体と調整する。

3. 大学就職担当者間の情報交換会・研修会

近年、多様化する就職活動において、学生への就職支援を行っていく上で、担当スタッフの研鑽は必要不可欠となってきている。また、学生のニーズ、企業のニーズが多様化している昨今では、大学間における情報交換は貴重な支援策のひとつとなっている。このことから、本事業ではコンソーシアムに加盟する大学の就職担当者が一堂に集まり、外部から講師を招き、話題提供に基づいて意見交換を行うことにより、新たな知識の蓄積と滋賀県下における就職状況等の把握、他大学における先駆的な支援施策等を知り、今後のキャリア支援に役立てるものとする。開催概要は以下のとおり。

【開催概要】

- ◆ 対象：加盟13大学の就職担当者
- ◆ 開催時期：夏季（7月～8月頃の半日（午後））
- ◆ 開催場所：湖南地域の大学を会場としたい。
（2010年度は湖南地域、2011年度は湖北地域、2012年度は湖南地域で開催した。）
- ◆ 構成：2部制で開催する。
 - ◇第1部：外部講師（産官関係者など）による基調講演（話題提供）と意見交換会
 - ◇第2部：加盟大学からの課題提案に基づいた意見交換会
 - ◇第3部：意見交換・親睦会

【概算経費】

- ◆ 講師謝礼（交通費含む） 50,000円 合計 50,000円

4. 学生を対象とした就職活動に活かす企業訪問会

平成23年度は、滋賀県の強みである優良中小企業の魅力を知ってもらい、学生個々の個性が活かせる就職先とはどういう企業なのかを改めて考える機会として、外部講師を招き講演会を開催した。平成24年度は、これをさらに発展させ、加盟大学に在籍する低年次生を中心に早い段階から将来に対するビジョンや働くというイメージを持たせることを目的に、1泊2日で合同合宿（企業訪問2社、OBOG交流会、グループワーク等）を実施した。

平成25年度については、平成24年度の合同合宿にて「BtoB」「BtoC」企業を訪問し、学生の評価、要望も高かったことから、企業訪問（OBOG交流会含む）に特化したイベントを開催する。本事業

業を通じて、様々な企業を知ることにより、企業の選択肢を広げ、更に企業訪問後、OBOGとの交流を通じて「就職することとは」「働くこととは」どういうことかを考える場とし、以降の学生生活、就職活動に活かせる事業としたい。

なお、実施に際しては、大津市、経済団体(滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会ほか)の協力を得て実施したいと考える。

開催概要は以下のとおり。

【開催概要】

- ◆ 対象学生：3年生以下
- ◆ 開催時期：未定（※実施時期は経済団体と相談）
- ◆ 開催場所：未定（※訪問企業は経済団体と相談）
- ◆ 実施回数：2回（日帰り）
- ◆ 構成案：企業訪問（2社）後、OBOGとの交流会を実施
 - 企業訪問（午前1社、午後1社）
 - OBOG交流（※交流会場所は未定）
 - 移動手段：バスを利用
- ◆ 定員：合計60名（2回実施のため、1回の定員は30名）
- ◆ 協力：大津市、社）滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業家同友会等の関係企業

【概算経費】

- ◆ OBOG謝礼（交通費含む） 15,000円×4名×2回
- ◆ 会場費 50,000円×1会場×2回
- ◆ 交通費 50,000円×1台×2回
- ◆ その他雑費 20,000円（手土産代含む）

合計 340,000円

※OBOGとの交流会場は、大学施設を使用することも検討の必要あり。

5. 滋賀県と共催事業によるワーク・ライフ・バランス講演会の開催

近年、「くるみんマーク」等の導入によりワーク・ライフ・バランスを考えた働き方が、企業や行政機関、施設等において考えられるようになってきた。しかし、まだまだ女性は結婚、出産により、一旦仕事をやめ、キャリアが中断するなど、仕事と家庭の二者択一を余儀されている現状がある。このことから、大学生が卒業後の自分の姿をイメージでき、仕事と子育ての両立を諦めることなく、自身の望む生活とキャリアを実現できるよう、社会人の一歩手前である大学生を対象に、滋賀県男女共同参画課と共催事業として就労継続に向けた就職支援の講演会を開催する。

開催概要は以下のとおり。

【開催概要】

- ◆ 対象学生：全学年対象
- ◆ 開催時期：2013年11月22日（金）（予定：※滋賀県と相談）
- ◆ 開催場所：未定（※実施場所は加盟大学の教室を使用）
- ◆ 参加人数：約200名
- ◆ 実施方法：講演会の開催
 - テーマ：「キャリアデザインとワーク・ライフ・バランス（仮題）」
 - 講師候補：安藤哲也氏（NPO法人ファザーリング・ジャパンファウンダー／副代表）
 - ※安藤氏は、全国の大学で多数（早稲田大学、法政大学、日本女子大学他）の講演実績あり
 - ※安藤氏は、厚生労働省「イクメンプロジェクト」推進チーム座長、内閣府・男女共同参画推進連携会議委員、国土交通省観光庁・休暇改革国民会議委員他、多数の委員を歴任
 - ※滋賀県男女共同参画課との共催事業として開催する。

【概算経費】

- ◆ その他の経費

合計 10,000円

※講演会の講師については、滋賀県にて準備いただくため経費は発生しない。

以上

平成25年度 単位互換事業計画

事業計画

(1) 平成25年度の単位互換科目の提供

平成24年度の事業計画で、次年度の受講者数の増加方策として、夏期や土曜の集中開講科目の提供、滋賀らしい科目の開発・提供及び参加大学での積極的な広報活動を、参加大学に要請してきた。

平成25年度の単位互換科目(予定)は、別紙の「2013年度 開講科目一覧」のとおりであり、参加大学の特徴的な科目、集中開講の科目、滋賀らしい科目などの科目の提供があったが、前年度より2科目少ない62科目となった。

なお、夏期や土曜の集中開講の科目、滋賀らしい科目、フィールドワークを取り入れた科目、eラーニングを取り入れた科目など、次表のような特徴的な科目を提供する。

科目名	科目の特徴
日本の歴史	eラーニング
近江の歴史	滋賀らしい科目
教育と文化	集中形態
欧米の文化	集中形態
彦根・湖東学	集中形態、滋賀らしい科目(彦根・湖東:市政、歴史、文化、自然等) フィールドワーク(彦根市周辺、古民家、自然遺産、多賀、佐目の風穴等)、ワークショップ
滋賀大学で環境を学ぶ	滋賀らしい科目(滋賀県・琵琶湖:環境)
地域論	滋賀らしい科目(滋賀県:地域、生活、文化) 受講生による調査と発表
びわこ環境行政論	滋賀らしい科目
滋賀の自然史	滋賀らしい科目
環境を考える	滋賀らしい科目・フィールドワーク(びわこ博物館)、ワークショップ
近江学A	滋賀らしい科目(近江学:自然環境、芸術、歴史、民族、思想、ものづくり)
滋賀論	集中形態、滋賀らしい科目(滋賀県、琵琶湖:歴史、神話、産業、文化等) クルージング(琵琶湖一周)
東近江の地域学	滋賀らしい科目(東近江:市政、教育、産業等)、フィールドワーク
滋賀の環境	滋賀らしい科目(自然、生物、環境、生活) 博物館見学、フィールドワーク
地域歴史学	滋賀らしい科目(近江・東近江:歴史、史跡、生活)、フィールドワーク
社会人類学	滋賀らしい科目(大津市大賞:歴史、環境、生活)
びわ湖・滋賀学	滋賀らしい科目(滋賀県・琵琶湖:食文化、集水域の暮らし、農業、産業)
ODA・国際援助論 E	集中形態
経営と女性 B	集中形態

(2) 平成26年度の単位互換科目の提供

平成25年度に引き続き、受講者数の増加を図るため、滋賀らしい科目を開発・提供するほか、集中開講の科目の提供及び積極的なPRを行う。

別紙

《 2013年度 開講科目一覧 》								
科目番号順								
科目提供大学	科目番号	科目名	回生	単位互換定員	開講期間	曜日	時限	単位
滋賀大学	01	日本の歴史	1以上	10名程度	秋学期	月	3	2
	02	教育と文化	1以上	10名程度	春学期集中			2
	03	欧米の文化	1以上	10名程度	春学期集中			2
	04	地理学からの問い	1以上	10名程度	春学期	水	3	2
	05	経済学からの問い	1以上	10名程度	春学期	水	2	2
	06	現代の企業と経営	1以上	10名程度	春学期	木	2	2
	07	数学的思考	1以上	10名程度	春学期	火	4	2
	08	近江の歴史	1以上	10名程度	秋学期	木	1	2
	09	滋賀大学で環境を学ぶ	1以上	10名程度	秋学期	金	3	2
	10	東アジアの多様性の理解	1以上	10名程度	春学期	月	2	2
	11	彦根・湖東学	1以上	10名程度	秋学期集中			2
滋賀医科大学	12	医学概論I	1以上	15名	前期	木	2	2
	13	医学概論II	1以上	15名	後期	木	2	2
	14	臨床心理学	1以上	不問	前期	火	5	2
	15	臨床コミュニケーション学	1以上	30名	前期	金	3	2
	16	地域論	1以上	不問	後期	木	4	2
	17	睡眠学概論	1以上	10名	前期	金	1	2
	18	環境マネジメント総論(人間文化学部・人間看護学部)※1	指定なし	10名	前期	月	1	2
滋賀県立大学	19	環境マネジメント総論(環境科学部・工学部)※1	指定なし	10名	前期	月	2	2
	20	びわこ環境行政論	指定なし	10名	後期	月	3	2
	21	滋賀の自然史	指定なし	10名	後期	月	5	2
	22	環境を考える	1以上	若干名	前期	木	1	2
滋賀短期大学	23	カラーコーディネート演習	1以上	若干名	後期	水	4	1
	24	子どもの保健 I b※2	1以上	若干名	後期	金	2	2
	25					金	3	
	26	秘書学概論※2	1以上	若干名	前期	水	1	2
	27					水	4	
	28	秘書実務 I	1以上	若干名	前期	金	4	1
	29	秘書実務 II	1以上	若干名	後期	金	4	1
滋賀文教短期大学	30	書道 I	1以上	若干名	春学期	火	3	2
	31	書道 II	1以上	若干名	秋学期	火	3	2
	32	美術理論	1以上	10名程度	前期	火	1	2
成安造形大学	33	文化史A	1以上	10名程度	前期	木	2	2
	34	文化史B	1以上	10名程度	後期	木	2	2
	35	近江学A	1以上	10名程度	通年	土	2	2
	36	滋賀論	1以上	若干名	前期集中			2
長浜バイオ大学	37	基礎微生物学	1以上	5名以内	前期	月	1	2
	38	基礎生物学	1以上	5名以内	前期	月	2	2
	39	細胞生物学 I	1以上	5名以内	後期	金	2	2
	40	遺伝子工学	2以上	5名以内	後期	水	5	2
びわこ学院大学	41	ビジネスコミュニケーション	1	5名程度	後期	木	1	2
	42	地域歴史学	1	5名程度	後期	水	3	2
	43	滋賀の環境	1	5名程度	後期	火	1	2
	44	東近江の地域学	1	5名程度	後期	火	1	2
びわこ成蹊スポーツ大学	45	衛生・公衆衛生学	1	若干名	前期	火	1	2
	46	スポーツバイオメカニクス	1	若干名	後期	火	2	2
	47	教養教育科目特別講義「里山学入門」	指定なし	10名	前期	月	3	2
龍谷大学	48	環境と人間A	2以上	20名	前期	月	4	2
	49	ジャーナリズム論 I	2以上	不問	前期	火	2	2
	50	社会保険論	3以上	5名	前期	火	4	2
	51	生活の中の数学	指定なし	15名	前期	水	3	2
	52	人間の心理と発達	2以上	不問	前期	木	4	2
	53	社会人類学	2以上	10名	後期	月	2	2
	54	まちおこし論	2以上	不問	後期	火	2	2
	55	びわ湖・滋賀学	2以上	不問	後期	木	1	2
	56	ODA・国際援助論 E	3以上	10名程度	夏期集中			2
立命館大学	57	経営と女性 B	2以上	10名程度	夏期集中			2
	58	キャリア開発 B	2以上	10名程度	前期	月	4	2
	59	心理学入門 TA	1以上	20名程度	前期	水	2	2
	60	現代社会と法 TA	1以上	20名程度	前期	木	4	2
	61	科学・技術と社会 C	1以上	10名程度	後期	金	5	2
	62	生命科学と倫理 MA	1以上	10名程度	前期	月	5	2

※1 両科目とも同じ内容のため、どちらか1科目しか受講できません。1時限は文系向け、2時限は理系向け。
 ※2 同じ内容のため、複数曜日時限のうち、1科目しか受講できません。
 * 開講科目が変更される場合もありますので、期間・曜日・時限を含め、必ず所属大学・短期大学で確認してください。
 * 単位互換定員が「不問」となっている科目は、教室の収容数によって選考する場合があります。

平成25年度 広報事業計画

1. 事業計画

ホームページ、リーフレット作成を継続して行うと共に、諸事業を推進するための広報事業を行う。また、成果発表の場としてのシンポジウムやフォーラムの広報支援や、加盟大学・短期大学の学生募集への貢献など適切な広報活動を展開する。

(1) ホームページの管理・運営

諸事業の展開を支援する広報事業として情報提供を行う。

また、当コンソーシアム事業の紹介や、滋賀県内の大学・短期大学の魅力をアピール発信することに取り組む。

(2) 広報資料の作成・配布

リーフレットの内容を大幅に改訂し、当コンソーシアムの事業内容の紹介をする。県内高等学校を中心に、近隣府県の高校、大学、自治体、経済界、NPO、全国コンソーシアム組織へも配布する。また、県内外での催し物などの機会を活用して、当コンソーシアムのPRにも活用する。

(3) オリジナルロゴの活用

当コンソーシアムのロゴを各種広報物やホームページに掲載し、コンソーシアムの浸透を図る。

(4) 事業委員会、大学・短期大学と連携した広報活動

大学・短期大学、各事業委員会と連携しながら広報活動を進める。また、行政の広報媒体の活用やパブリシティに力を入れるなど積極的な広報活動を行う。

2. 予算

・ホームページの管理・運営	150,000円
・広報資料の作成・配布	350,000円
(計)	500,000円

以上